

## 委員会だより

△11月4日（日）8名出席▽  
小林主任司祭あいさつ

- ＊10月4日横浜教区秋季典礼研修会にて、カンペンハウド神父様より次の点の指導がありました。
    - ・答唱詩篇を歌う時、歌詞（聖書のみ言葉）を黙想すると良い。
    - ・ベトナム語聖歌の力セットがあるので、習うと良い。
  - ＊消防設備点検結果を泉消防署に提出。改善指示等の詳細について営繕Gと打ち合わせました。
  - ＊初聖体を授かる子供達は、幼児洗礼であり洗礼式のお祝いは覚えていない。このため初聖体式で教会の全員で祝福してあげたい、教会委員会も協力をお願いします。
  - ＊水曜日の「聖書のわかちあい」を11月14日（水）より毎週実施する。
- 報告・審議事項
- ☆報告事項
- a. 横浜教区一粒会大会報告。（宣教G）  
＊聖園女学院 80名「子ども・大人のプログラム」は斬新な計画で好評であった。
- b. 07年度バザー実績（行事G）  
10月28日実施した、バザーについて行事委員会から総括的な報告があり、詳細については「反省会」を11月11日に実施する予定です。
- ＊反省…①前日の準備が雨天であった。②開催日の関係で参加できない人がいた（介護の関係で）。③バザー全体の運営に「一考を要す面」があった。④新規に販売した「春巻」は人気があった。
- ＊対応…①荒天時対応と準備要員の確保が必要と思われる。②若い方達の「お手伝い」をお願いして行く。③行事Gとして何が出来るか、グループで考えたい。④新たな販売品について、信徒の皆様にお願ひして行く。

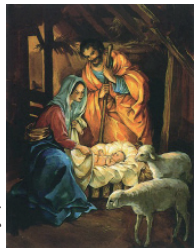


## ☆審議事項

- a. 11月11日七五三・11月25日初聖体式の祝会
- ＊七五三…香部屋グループにて千歳飴を準備。祝ひ会は実施しない。
- ＊初聖体式…ミサ内で初聖体式・ミサ後に記念写真・新集会室にてお祝ひ会を行う。詳細は、神父様の指導で準備会をつくり対応する。
- b. バザー収益の使い方
- ＊従来の考え方…収益金の内数％を福祉関係へ寄付、その他は建設費用として積み立てて来た。
- ＊9月委員会の審議結果…教会建物補修…50％、愛の献金…50％に改める方向を出した。
- ＊今回詳細審議結果…信徒の皆様から幅広く色々なご意見を頂たくため「愛の献金を考える会」と「教会建物を考える会」を立ち上げ、両者に関する考え方を中期レンジ（3～5年）でまとめる。ご協力をお願いいたします。
- ＊詳細は「愛の献金を考える会」メンバー募集と「教会建物を考える会」メンバー募集（07.11.18教会委員会（前頁参照）の通り。
- c. 来年度教会委員改選
- ＊現行規約…委員長・副委員長は公選、各委員は各グループの推薦。
- ＊委員長・副委員長公募…11月18日より公募する。当日公募箱を設置します、ご協力お願いします。
- 各グループ連絡・報告事項
- a. 営繕G…聖堂床下防犯対策等の営繕について「見積を依頼中」、集約でき次第報告します。
- b. 財務G…バザー収益、昨年と同程度。詳細は、別途報告。
- c. 宣教G…10月にリーダー研修が藤沢教会で行われ、3名が参加。

## 土のにおいと馬小屋

主任司祭 小林 陽一



クリスマスが近づき、馬小屋を教会内にセットする教会もございます。馬小屋と言いますが、イエス様の生まれた所は、小屋ではなく、洞くつのような所だったと思うのです。

イエス様の生まれた所は、家畜のにおいと草のにおい、そして土のにおいの絶えない場所で、当時の高貴な人は近づかなかったと思います。そこに神は、人となって生まれました。

人となったイエス様が小さな手で触れたものは、マリア様の手と草と土と家畜たち。それは庶民や貧しい人々の居所。

神は、そこに生まれ、人として、幼年期のある時期を過ごしました。そして間もなくヘロデ王に追われ、ヨゼフ様とマリア様に守られて、難民としてエジプトという外国に行きました。エジプトで、よその国の人として3人は暮らし、ヘロデ王が居なくなってから、ガリラヤに帰りました。

土のにおいをイエス様は知っていたと思います。30歳まで大工のヨゼフ様の家で生活していたイエス様は、作物を育て、木や石を切って家具を作り、旧約聖書を読んで、祈っておられたと思います。

30歳になって宣教生活を始めましたが、土の上に横になって眠る野宿生活をなさっておられたと思います。33年間、土を身近に感じて生きたイエス様は、庶民の生命、魂の自由、権力者の圧政を感じ、神の国の到来を告げ知らせて死んで行かれ、復活なさいました。

教会の中にイエス様が眠る馬小屋を見たとき、それは貧しい場所であるが、神が最も心を寄せる人々の生きる所と感じたいものです。

クリスマスは、貧しい人々に神が心を向ける時。だから、貧しい人と共に私たちも生きたい。

クリスマスは、人と人との心を通わせようとイエス様が人間の世界に来られたことを祝う日。このイエス様の心に私たちが気づき、人との和解、神との和解を願ひましょう。

## おめでとうございます！



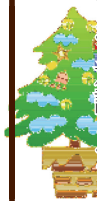
七五三のお祝い 11月11日



初聖体 11月25日



## 07年11月委員会後記 小野委員長



- ◆11・23ザビエル祭に16名参加予定
- ◆宣教グループの打合せを行い、活動内容等を整理中です。
- ◆要理学校では、初聖体者の勉強を進めている。クリスマスの聖劇も練習中。
- d. 福祉G…「アフリカへ毛布を送る運動」を行事G・福祉Gで協議中。皆様のご協力をお願いします。
- e. 事務G…10月21日「避難誘導訓練」につき中和田教会防災教育委員会に報告。教会委員会は防災教育委員会からの報告を次回訓練に役立てるよう意見を伝えて承認した。

■11月11日に七五三の祝福ミサが、そして11月25日に初聖体ミサが、それぞれ大勢の信徒の皆様が暖かく見守るなか捧げられました。

次の世代のカトリック教会を担う子どもたちの成長の節目のミサに立ち会えた喜びを皆様と分か合いたいと存じます。教会学校関係、典礼、宣教、行事の各グループの皆様、ヨゼフ会の皆様、並びにご父兄の皆様、ご尽力まことに有難うございました。滞りなく式典を終えることが出来、楽しくそして晴れがましい思い出として子どもたちの記憶に深く刻まれると信じます。

言うまでもなく、次の世代にしっかりと信仰を伝えることも『宣教』の重要な要素です。これからも教会全体で教会学校の活動を盛り立てていきましょう。

■既にご案内の通り、「愛の献金を考える会」と「教会建物を考える会」を立ち上げるべく、信徒の皆様に参加のお願いをしております。このお願いの発端は、従来からご指摘がありました「バザー収益を何に振り向けるべきか」という課題にあります。従来は、教会建物の老朽化に伴う建物補修に多くを振り向けざる得ない状況にあり、現在もその状況に本質的な変化はありませんが、『教員以外の方々にも多大なご協力をお願いしているバザーの収益』の取り扱いや考え方を、原点に戻って再検討すると同時に、検討範囲をバザーのみならず教会財務全体に拡大して中長期的に考えていこう、という主旨です。是非、多くの信徒の皆様にご参画頂き、忌憚のないご意見を頂ければ幸いです。

■濱尾文郎枢機卿様が11月8日に帰天されました。中和田教会にも堅信式で数度来訪され、信徒の皆様もそれぞれ枢機卿様の率直なお人柄やお話の内容など、多くの思い出をお持ちのことと存じますが、まさに痛恨の極みです。

全く個人的な昔の思い出で恐縮至極ですが、枢機卿様が東京教区で補佐司教を担当しておられた時期、関口教会（東京カテドラル）でキリスト教講座を開いておられ、信者、未信者問わずいろいろな方々が参加して活発な話し合いが行われていて、当時東京に居た私も夫婦もその恩恵に与っていたことがとても懐かしく思い出されます。心から「冥福をお祈り申し上げます」。



## 濱尾文郎枢機卿様 ご逝去



教皇庁移住・移動者司牧評議会の元議長で横浜教区名誉司教の濱尾文郎枢機卿(77歳)が11月8日、肺ガンのため帰天されました。1998年に日本人として初めて教皇庁評議会の議長になり2003年には日本人で5人目の枢機卿となるなど要職を歴任されましたが、体調悪化で今年10月初旬に帰国、入院されていました。



堅信式 中和田教会 1990年3月25日

### 濱尾司教(枢機卿)が涙した 元教会委員長 清水 聖

1992年2月、横浜司教館から次のような案内状が届きました。

司祭叙階式

司 式： 横浜教区長 ステファノ濱尾文郎司教

受階者： ミカエル鈴木 真

日 時： 1992年3月20日 午前11時

場 所： カトリック由比ヶ浜教会

この案内状が凡ての始まりです。私の粗忽さから、出欠返信日の2月20日を式当日と思い込んでしまい、由比ヶ浜教会を訪れて空振り。改めて3月20日の叙階式本番に出席。間違えて二度の訪問をしたおかげで、由比ヶ浜教会に親しみをもちました。

厳粛なうちに叙階式が進められました。司教様は、「由比ヶ浜教会に一人の司祭が生まれます。鈴木真司祭の誕生です。これは神様からの贈り物です。これは由比ヶ浜教会や横浜教区の為だけでなく、日本の教会、アジアの教会、世界の教会へのプレゼントです」と熱心に話されました。何回か叙階式には参列させていただきましたが、濱尾司教様が涙を流し、嗚咽までされたお姿は初めて拝見しました。式の中での握手、聖別の際には目にいっぱい涙をためておられました。その後も他の叙階式に何回も出席させていただきましたが、この時のような感激はありませんでした。

祝賀会の折には、鈴木神父のお母さん、弟さんと歓談しておられました。お母さんの手をとってお話をしておられました。司教様の人間味溢れる姿を垣間見て、私も思わず目頭が熱くなりました。新司祭誕生の夢舞台でした。枢機卿として世界の人々の為に働かれ、体調を崩されてのご帰国。そしてご入院中の帰天とお聞きしました。まだお若いのに非常に残念です。心からご冥福をお祈りいたします。

### 今は亡き、濱尾枢機卿様と交わした、 たった一度のご挨拶

竹内 広治

私にとってその訃報はあまりにも突然で、俄には信じられないほどの衝撃が胸を走りました。私たちの脳裏におられる枢機卿様は、いつもお元気でいらして、絶えずにこやかな表情を浮かべておいでで然も活動的な方。私たちはその様に勝手にイメージを固めておりましたから、信じられない、いやそれよりも信じたくない気持ちで一杯でした。

ローマで体調を崩されご帰国、入院して療養なされていたことの詳細は、先頃のカトリック新聞で私は知りました。

1981年、ローマ教皇訪日にあたっては、当時の濱尾横浜教区長が、訪日前の教皇庁との折衝にあたり、来訪されてから離日されるまでの間、殆どお側を離れないほどお世話申し上げたこと、衆知にあまねく通りのこと。教皇ヨハネ・パウロ二世のお心の中に、この国際的な感覚に優れた、東洋の逸材を必ずローマへお招きになるだろうとの推測は、1998年6月、世界の難民・移住者のために働く、教皇庁移住・移動者司牧評議会議長に任命されたことで分かります。その後、ご苦労が多いお仕事を持ち前の剛毅さと明るさでお務めになり、充分に教皇様のご期待にお応えになったこと、私たちもそれらの報道に貪る様に目を通しました。2003年、枢機卿親任式の時、大勢の新枢機卿方の集団に、ひときわ存在感のある偉丈夫をお一人、即ち濱尾枢機卿様を見いだした時の、嬉しさと誇らしさを忘れることはありません。

少し時代は戻ります。枢機卿様が横浜教区長に任命された1979年、その頃の教会誌のなかに、濱尾司教は国際都市横浜を擁する横浜教区長として、相応しい国際人であり、全ての面において優れておられる。司教の人に対する思いやりの心は、誠に尊い貴重な宝というべきもの。着任以来、司祭親族の集いを度々催し、司祭を生み出した家庭をねぎらう等の優しさが述べられておりました。ある司祭の叙階式の折り、司祭を捧げた家族の人たちの心を思いやり、これから司祭の長い試練の行き先を偲んでか、祭服の袖で涙をそっと拭われたとのことを、伺った事がございます。

1998年、横浜教区報号外にバチカンへ赴任するについての抱負と、横浜を去るにあたりと題しお気持ちを寄せられました。神奈川、静岡、長野、山梨の4県にわたり横浜教区は、港、海岸、山岳、平野、湖、河川、農村などが豊かで、実に自然に恵まれていて日本一の富士山もあります。横浜教区は信徒、教区司祭、宣教会、修道会司祭、修道者の方々に恵まれていて、素晴らしい教区だと思います。心もとない私のためにお祈り下さい私も教区のために祈っておりますと結ばれました。

いつの頃から記憶が定かではありませんが、中和田教会で堅信式が行われた時のパーティーで、初めて濱尾枢機卿、当時の司教様にお目にかかってお話をいたしました。

「司教様、焼きそばのお味は如何ですか？」司教様はやや、鼻にかかった独特のお声で「やあー、やっぱり旨いねー、中和田の焼きそばの旨さは定評ものだよ」何処へいらしても人の気を逸らさない、人当たりの柔らかさは、天性の輝きか切磋琢磨の結晶なのか、思い起こすその度に崇敬の念はますます高まるばかりです。巨星ついに墜ちたる枢か・・・

枢機卿、どうぞゆっくりおやすみ下さい。紺碧の天空に富士の姿が見事で在ります様に。

## 中和田教会 避難誘導訓練報告

中和田カトリック教会事務 G

訓練は10月21日(日)ミサ終了後に、50名の参加で自衛消防隊の指導で行われました。避難誘導訓練は初めてのことで、「皆があわてないようにゆっくり誘導する」を訓練ポイントとしました。

### 1. 避難誘導訓練の状況

- (1) 訓練内容の説明(避難誘導訓練指揮者：副委員長) 火元、誘導者、避難経路、注意事項、等
- (2) 訓練内容： 2台の車椅子を先頭に、避難誘導係の誘導に従い全員駐車場へ避難完了した。
- (3) 避難誘導訓練時の自衛消防隊の担当  
隊 長：新集会室で全体を指揮。  
初期消火係：消火器を持ち、火元経由で避難  
非常持出係：事務所書棚の信徒台帳持ち出し



通報連絡者：隊長を新集会室にて補佐。  
避難誘導係：訓練開始の合図で皆を誘導。  
救護係：事務所の救急箱持ち出し

### 2. 避難誘導訓練反省会での意見

- \* 火災が起きた場合は、皆が緊急脱出できる方法を検討してもらいたい。
- \* 避難時、玄関扉は両扉の開放をお願いしたい。(訓練時は片側のみ)
- \* 聖堂では火気は心配ないので、地震対応の訓練がより良いと思う。
- \* 説明時私語が多く、指揮者の声が聞き取れなかった。
- \* 聖堂退去時には、両サイドの窓は開けるのか・閉めるのか。
- \* 車椅子は、道路までの避難通路を考えるべきではないか。また、駐車場内にも通路確保が必要ではないか。

## メンバーを募集します

教会委員会

2007・11・18

### 教会建物を考える会

### 愛の献金を考える会

#### 1. 従来経過

中和田教会の「教会建物・什器の改善・修理」については、「営繕グループ」(副委員長を中心とした)で、検討し教会委員会に諮り進めてまいりました。

最近の実績としては、一昨年聖堂・新集会室の外壁塗装変え・屋根瓦の一部葺き替えをしました。更に今年度は、堅信式で梅村司教をお迎えする直前に、内陣壁の表面壁落ちなどのため、聖堂の内装関係を整備致しました。4月以降は、小林神父様をお迎えするにあたり、司祭室・神父様の生活環境(風呂場・冷暖房設備等)を改修しました。

#### 2. 今後の対応

しかし営繕グループで今後の対応を話し合っていますと

- (1) 防犯対策(駐車場入口・裏入口(畑からの)無断出入り){本館・新集会室出入口防犯など}
- (2) 建物構造{バリアフリー化}{集会室・事務所の狭隘}{耐震・防火対応}{冷・暖房設備}{劣化箇所点検(屋根瓦・窓枠・網戸など)}
- (3) その他設備{聖堂の椅子の劣化・新集会室の椅子テーブルの劣化}{水道・電気設備の劣化と容量不足など}

など、まだまだ問題は山積みされており、これらの問題は、簡単には解決できないと思われます。

#### 3. 「教会建物を考える会」の設立

そこで、皆様が使われている教会ですので、「使い勝手を含めて」多くのご意見をいただき、「問題点を明らかにすること」と、改善にあたっては多額の費用が掛かるため、工事の順位と「できるだけコストダウンできる費用算出」などを考える必要があると思われます。

このため、皆様方の経験や体験をいただき、「誰でもが使い勝手の良い教会」・「安心して祈れる教会」を目指して「教会建物を考える会」を立ち上げることにしました。

皆様のご意見を是非お伺いしたいので、多くの方のご参加をお願いいたします。ご賛同いただける方は、「教会建物を考える会」メンバー表にご記入ください。

会合の時間・場所はメンバーの都合により、決めて行きたいと考えております。また、「教会建物を考える会」のまとめは、「営繕グループ」に答申する予定です。

#### 1. 従来経過

中和田教会の福祉活動は、個人的にいろいろな面で活躍されております。

しかし、教会としての実情は「横浜教区第五地区近隣教会福祉懇談会」が実施されておりますが、「福祉委員が居ないこと」などから参加はしていません。(大船・藤沢・戸塚・片瀬・鍛冶ヶ谷・由比ガ浜・雪ノ下は参加)

昨年中和田教会委員会では、この第五地区の懇親会に参加されていた渡邊神父様に指導を仰ぎ、今年の信徒大会で「福祉委員」の設置を承認いただきました。そして今ゆくりではありますが「福祉グループ」の活動が始まりました。

更に、2007・4・8司教教書「共同宣教司牧に向けた・新たな宣教評議会と地区共同宣教司牧委員会」の中で、次の三つの欠かせない要素を掲げ「各地区に三つの部門を設けてください」と言われています。三部門と中和田教会のグループ活動とを重ねますと

- ① 祈る力 = 典礼グループを主体に育てる
- ② 信仰を伝える力 = 宣教グループを主体に育てる
- ③ 神の愛を証する力 = 福祉グループを主体に育てる

#### 2. 「愛の献金を考える会」の設立

教会委員会では、この「横浜教区第五地区近隣教会福祉懇談会」内容、その他の教会の情報などから、今年はバザー収益の50%は「愛の献金」へと考えております。従来は、バザー収益の数%を旧マリア会活動から引き継いだ数箇所の施設へ献金を継続しておりました。

当教会地区にどのような施設があり、どんな献金方法があるのか(援助物品か・援助金か・労働力の提供や応援かなど)、皆様方の経験や体験をいただき「今年のバザー収益の献金先」や「福祉グループの活動への協力」をするため、「愛の献金を考える会」を立ち上げることにしました。

皆様のご意見を是非お伺いしたいので、多くの方のご参加をお願いいたします。ご賛同いただける方は、「愛の献金を考える会」メンバー表にご記入ください。

会合の時間・場所はメンバーの都合により、決めて行きたいと考えております。また、「愛の献金を考える会」のまとめは、「福祉グループ」に答申する予定です。